

# 第三中学校改築工事 基本設計業務委託 仕様書

## I 業務概要

1. 業務名称 第三中学校改築工事 基本設計業務
2. 委託場所 館山市北条 1,452
3. 履行期限 契約締結の日から平成 31 年 2 月 28 日
4. 施設用途 中学校（校舎）

## II 設計と条件

### 1. 敷地の条件

- 敷地面積 約 32,000 m<sup>2</sup>  
用途地域 第一種住居地域  
建ぺい率 60 %  
容積率 200 %  
日影規制 5 時間／3 時間（測定面 4m）  
その他 都市計画道路あり  
敷地内に水路あり

### 【敷地概要】

本校敷地は、館山駅から東へ約 600mの場所にある。敷地南側及び東側は市道（法 42 条 1 項 1 号）に接道しており、北西側一部は市道（法 42 条 2 項）及び位置指定道路（法 42 条 1 項 5 号）に接道する。また、敷地西側の一部に都市計画道路がかかり、敷地中央部を南北方向に水路が横断している。

市の中心部に位置し、敷地北東側には市役所が隣接。敷地南側には北条中央公園や市立図書館があり、市民の集いの場となっている。

### 2. 前提条件及び改築における施設のあり方

#### (1) 前提条件

- ① クラス、学年のまとまりを重視し、特別教室型運営方式を基本とする。
- ② 設置校のクラス構成は以下となる。

中学校：各学年 4～5 クラス 計 13 クラス，特別支援学級 4 クラス

【表 1】生徒数推移予測

→ 2030(H42)以降は予測値

西暦	2022(H34)	2027(H39)	2029(H41)	2032(H44)	2037(H48)	2038(H49)
生徒数	460 人	403 人	374 人	349 人	325 人	
統合想定		849 人	773 人	733 人	683 人	671 人

- ③ 敷地横断する水路の経路変更はいとわない。経路変更の場合は排水性能が改善さ

れる計画とすること。

- ④ 既存体育館は、工事中及び校舎改築後も使用する。
- ⑤ 計画校舎及び武道場は、既存校舎に重ならない計画とする。
- ⑥ 給食は給食センター方式により、別敷地から車両にて配食される。
- ⑦ 肢体不自由な生徒用として、エレベーターを1基計画する。

## (2) 改築における施設のあり方

### 【重点項目】

- ・一過性のデザインや工法だけではなく、日々生徒や教職員が利用することや数十年先まで存続する拠点校であることを念頭に置いた施設とする。
- ・施設全体をコンパクトに計画し建設費を抑制するとともに、維持管理等、将来にわたってメンテナンス性に優れた施設とする。
- ・将来の増築計画を考慮した施設配置であること。
- ・生徒が安全にかつ安心して学校生活を送ることができるよう、動線計画を整理するとともに、きめ細かく安全の確保に配慮する。
- ・自然採光・自然通風を効率良く確保し、かつ断熱性能を高めた施設とする。

### 【検討項目】

- ・少人数指導による学習やグループ学習、選択学習など多様な学習内容・学習形態による活動を可能とし、将来の用途変更に対応できるような構造とする。
- ・普通教室周辺は、学習の場であると同時に生活の場・コミュニケーションの場となるよう、生徒の居場所づくりに配慮する。また、学年活動等ができるスペースを工夫する。
- ・特別支援教室(最大生徒数8名/室)は、保健室等管理諸室との関係性に配慮する。
- ・特別教室等においては、汎用性を備えた内容・構成とし、各教室の利用率を高める工夫を検討する。
- ・生徒の自主性を活かせるよう、日ごろの学習成果や活動を展示・発表できるスペースの設置を検討する。
- ・図書室は、学校の中心に計画し、生徒の自主的・自発的な学習に利用しやすい計画とする。
- ・管理諸室は、校務センターとして職員室・事務室等の関係諸室を統合した開放的な計画とし、教職員数の変動にも対応しやすいよう配慮する。
- ・エレベーターは、給食室との動線を考慮し、給食配膳との併用も検討する。
- ・社会的要請でもあるユニバーサルデザインは、改めて利用者視点で検討し、更なる実効性を追求する。
- ・建物の耐震性を十分確保するとともに、災害時の使用も考慮した校舎のレイアウトを検討する。

- ・改築工事期間中においては、保護者や地域、近隣校を含めた多くの人たちの協力を得ながら学習や運動の場を確保するなど、生徒が可能な限り安定した学校生活を送れるよう、安全と学習環境に配慮する。

### 3. 施設の条件

- (1) 延べ面積 6,000 m<sup>2</sup>以下とする。
- (2) 主要構造 鉄筋コンクリート構造
- (3) 階 数 4階建以下とする。
- (4) 工 法 施工の容易な汎用性の高い工法とする。
- (5) 空調計画 単一ダクト方式と個別分散空調方式を比較検討し、適した方式を採用すること。居室の室内温湿度条件は次表によるものとする。

	冬季	夏季
乾球温度 (°C)	18~20	25~28
相対湿度 (%)	40~70	

- (6) 換気計画 単一ダクト方式と個別分散換気方式を比較検討し、適した方式を採用すること。換気装置は、熱交換エレメントを組み込んだ静止型全熱交換器を使用する。
- (7) 学校規模
  - ア. 平成34年4月開校予定 生徒数 約470名 職員数 40名
  - イ. 増築計画(武道場整備) (同上)
  - ウ. 増築計画(統合想定) 生徒数 最大850名程度
- (8) 必要諸室等

- ア. 平成34年4月開校予定(生徒数 約470名)

#### 【教室】

普通教室(13室)、多目的教室、特別支援教室(4室)、PC教室、図書室、理科室、音楽室、家庭科室、美術室、技術室、外国語教室、教育相談室

#### 【管理諸室】

職員室、校長室、事務室、保健室、教育相談室、印刷室、職員更衣室

#### 【その他】

各トイレ、倉庫、生徒昇降口、各階給食保管室、他必要と考えられる室

- イ. 増築計画(武道場整備)

※増築計画については、今回の設計業務には含まずに配置計画のみ実施する。

#### 【その他】

武道場(柔道場・剣道場) ※他の教室とは別棟とする。

- ウ. 増築計画(統合想定)(生徒数 最大850名程度)

※増築計画については、今回の設計業務には含まずに配置計画のみ実施する。

## 【教室】

普通教室（6室），他必要と考えられる室

### Ⅲ 業務仕様

本業務は，将来的な学校再編による統合中学校としての全体像を見据えた配置計画を基に，平成34年4月開校予定の470人規模の中学校施設の基本設計を行うものとする。  
※増築計画については，今回の設計業務には含まずに配置計画のみを実施。

#### （1）基本設計業務

基本設計業務は下記の内容を含むものとする。

- ① 計画諸元の整理を含めた基本設計スケジュール表の作成
- ② 次に掲げるものを内容とする基本設計図（各設備含む）の作成  
実施設計の基本となる配置図，平面図，断面図，立面図の一般設計図等
- ③ 次に掲げるものを内容とする基本設計説明書（各設備含む）の作成
  - ・計画概要
  - ・工事費概算書
  - ・工事工程計画の概要
  - ・設計経過説明書
  - ・工事発注区分計画書
  - ・施工計画説明書
  - ・各室諸元表
- ④ 施工スケジュール，工事発注スケジュール，工事発注区分の検討にかかる資料作成
- ⑤ 各種技術検討書及び資料の作成，並びにそれらに基づく類似事例調査
- ⑥ 発注者等によるVE代替案に基づく設計図書作成
- ⑦ 学校改築検討会等の開催に伴う資料作成および議事録の作成
- ⑧ 近隣折衝等，外部関係者への各種説明資料の作成および実施支援
- ⑨ 内部関係者への各種説明資料の作成
- ⑩ 基本設計業務実施に必要な発注者及び関係者との協議の設置及び実施
- ⑪ その他基本設計業務遂行に必要な市担当者の指示による業務

#### （2）成果物及び提出部数

成果物等	原図	写し	製本形態	適用 (A3 以外は特記)
a. 建築（総合） ・建築（総合）基本設計図書 仕上表 面積表 付近見取図，配置図	各1部	各2部		

平面図（各階） 断面図 立面図（各面） ・基本設計説明書 ・仮設計画概要書				
b. 建築（構造） ・構造計画概要書 ・仕様概要書	各 1 部	各 2 部		
c. 電気設備 ・電気設備計画概要書 ・仕様概要書	各 1 部	各 2 部		
d. 機械設備 ・空気調和設備計画概要書 ・給排水衛生設備計画概要書 ・仕様概要書	各 1 部	各 2 部		
e. その他 ・設計説明書 ・透視図 ・外構計画図 ・工事費概算書 ・日影図	各 1 部	各 2 部		
f. 資料 ・各種技術資料 ・各記録 ・CADデータ	各 1 部	各 1 部		